



▲マルイカは女性にも人気



▲プロポーションのいい良型も
▶ブランコ仕掛けでも釣れる



▲型は中小型主体



▲誘った後、しっかり
竿を止めてアタリを見る
◀直ブラ仕掛けで本命ゲット
▼マルイカもいよいよ
シーズン後半に突入



▲赤帽スツテは外せない!
▶城ヶ島沖で着乗り
▼なるべく速く仕掛けを落とすようにしよう



▶いい日は70~80杯の釣果も上がっている
▼船中最初の1杯はムギイカ



▲イカの活性が上がった後半は上から1~2本のツノに乗ることが多かった



◀30杯を釣った池上さんがトップ
▼マイクロサイズのアタリが分かる
と数ものびる



2~30杯の釣果。
この釣りは慣れた人とビギナーで大差がつくことがあるものの、基本を一つずつ押さえて経験を積みれば釣果は確実にのびるはず。浅場のマルイカ釣りを楽しみましょう!
(詳細は52ページ参照)



▶幹糸はハリス4~5号が標準。ハリスはしなやかさと強度を備えた高性能フロロカーボンハリス、サンライン「アジアオモリ40号」を使用



◎この日は前半は亀城根周り、後半は城ヶ島沖を中心に狙った



三浦半島葉山あぶずり港出船 浅場のマルイカ 三浦半島西部エリアは ベストシーズンは

撮影●丸山利明

外房、駿河湾の各地でマルイカが盛り上がっている。6月はシーズンの後半戦となるが、この季節はムギイカ交じりで数のがびるのが特徴。釣り場も浅場へ移行し比較的簡単にマルイカ釣りを楽しめる。
5月下旬に取材した三浦半島葉山あぶずり港の愛正丸は、葉山、城ヶ島沖の水深19~50メートル前後を狙い、ムギイカ交じりで胴長15~25センチ級が一人

◎三浦半島葉山あぶずり港
愛正丸・米山 信一郎船長